平成23年2月伊賀南部環境衛生組合議会第167回定例会会議録

平成23年2月18日(金曜日)

議事日程

平成23年2月18日(金曜日)午前10時40分 開議

日程第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 諸般の報告

第4 議案第1号 平成23年度伊賀南部環境衛生組合一般会計予算について

第5 議案第2号 平成22年度伊賀南部環境衛生組合一般会計補正予算(第3号)
について

出席議員

石井 政	稲森 稔尚	坂井 悟	豊岡 千代子	永岡 禎
中本 徳子	松村 頼清	三原 淳子	柳生 大輔	幸松 孝太郎

説明のため出席した者

管理者	亀井 利克	副管理者	内保 博仁
副管理者	前田 國男	事務局長	清滝 勇人
総務担当参事	田中 実	総務担当参事	堀 忍
総務担当参事	内田 秀弘	総務室長	井面 清司
業務室長	稲森 治夫		

事務局職員出席者

書記長	中野 栄蔵	書記次長	高嶋 和子
書記	田中 耕作	書記	浪花 武志

午前10時40分開議

(柳生大輔議長席に着く)

議長(柳生大輔) ただいまから平成23年2月伊賀南部環境衛生組合議会第167回定

例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（柳生大輔） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、松村頼清議員、三原淳子議員を指名いたします。

~~~~~

日程第2 会期の決定

議長（柳生大輔） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本組合議会定例会の会期は、本日1日といたしたいと思いを。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（柳生大輔） ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日と決しました。

~~~~~

日程第3 諸般の報告

議長（柳生大輔） 日程第3、諸般の報告をいたします。

管理者から損害賠償請求の和解についての専決処分報告、また監査委員から平成22年12月及び平成23年1月に執行した例月出納検査結果の報告を受けました。報告書は、お手元に配付のとおりでございます。

~~~~~

日程第4 議案第1号 平成23年度伊賀南部環境衛生組合一般会計予算について

議長（柳生大輔） 日程第4、議案第1号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。管理者。

（管理者亀井利克登壇）

管理者（亀井利克） ただいま上程されました議案第1号、平成23年度伊賀南部環境衛生組合一般会計予算につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

予算案の概要を申し上げる前に、廃棄物行政を取り巻く近年の情勢につきまして、若干触れさせていただきます。

昨年開催されました気候変動枠組条約締約国会議や国連地域いきもの会議を受けて、

国では平成23年度の施策目標として、1つに25%削減を目標とした低炭素社会づくり、2つにCOP10の成果を踏まえた自然共生社会の実現、3つに安定成長を支える循環型社会の実現、最後に安全・安心の生活の実現を4つの柱ととらまえ、持続可能な社会と成長の両立を目指し、積極的、総合的に各種施策を展開していくことといたしております。

こうした施策推進のもと、全国では循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法に基づき、廃棄物等の発生抑制と適正な循環的利用や処分により、天然資源の消費を抑制し環境への負荷が低減される循環型社会の形成に向け、3Rを中心としたさまざまな取り組みが行われています。

当組合におきましても、平成21年2月に伊賀南部クリーンセンターを稼働させ、現在安定かつ適切な運営に努めながら市民の皆様のご理解とご協力のもと、ごみの減量化と徹底した分別による資源回収を行うなど、廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進に向け取り組みを進めているところであります。今後ともこのクリーンセンターの適切な運用に努めるとともに、関係の皆様方のご協力を得ながら事業を展開してまいりたいと考えておりますので、議員皆様方におかれましても、引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、平成23年度伊賀南部環境衛生組合一般会計予算につきまして、その概要を申し上げ、ご審議を賜りたいと存じます。

まず、歳出予算の主なものを申し上げます。

総務費は、退職手当を含めた人件費を初め事務的経費や施設管理経費など1億2,777万4,000円でございます。

次に、環境衛生費であります。収塵車管理費は、ごみ収集業務委託や指定ごみ袋に係る経費など収集業務に係る経費であり、クリーンセンター費は、クリーンセンター運転管理業務委託や飛灰処理委託などの工場運営経費でございます。また、中継所費、最終処分場費、し尿処理場費につきましては、それぞれ施設の維持管理に係る経費でございます。また、ストックヤード整備費は、旧清掃工場の解体跡地に建設する、紙・繊維類の回収保管、施設の整備に係る経費でございます。

以上、環境衛生費の総額は13億8,108万7,000円でございます。

公債費は、組合費に係る元利償還金などで、旧清掃工場の解体に伴う繰上償還分を含め3億3,547万5,000円を計上し、予備費には不測の支出に備え500万円を計

上いたしております。

続きまして、これらの財源となります歳入でございますが、名張市及び伊賀市それぞれにご負担いただいております分担金は、名張市から12億6,317万6,000円及び伊賀市から1億8,879万4,000円で、合わせまして14億5,197万円をお願いいたしております。

次に、廃棄物処理手数料は、指定ごみ袋による処理手数料などで2億2,048万円を計上しております。

また、その他の収入といたしましては、繰越金、諸収入を合わせまして6,015万円、ストックヤード整備に係る清掃施設整備事業費に1億1,700万円を計上いたしております。あわせて当該事業債に関し、限度額等についての設定をいたしております。

以上、申し上げました平成23年度一般会計予算額は、前年度との比較で約0.7%の増加、18億4,960万円となっております。何とぞよろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願いを申し上げ、提案理由のご説明といたします。

議長（柳生大輔） これより質疑を行います。なお、本日の質疑は、会議規則第43条の規定により3回までといたします。三原淳子議員。

議員（三原淳子） 一般会計について質問いたします。

まず、12ページ、清掃費の中で収塵車管理費が減額になっております。この内容についてご説明ください。

そして、あわせて12ページ、クリーンセンター費増の内容、そして15ページの運転管理委託料の前年度との差、そしてその差の理由をお知らせください。

議長（柳生大輔） 事務局長。

事務局長（清滝勇人） まず、一点目の収塵車管理費の前年度比較より減少した理由はということでございますけれども、私どものほうは業務の見直しによりまして配置数の変更をさせていただき予定でございます。そのための人件費が減少しまして、22年度は29名配置をさせていただいておりましたのが21名に減らしたというようなことでの減少でございます。

それから、クリーンセンターの委託料の部分でございますけれども、運転管理業務委託の部分については、22年度で1億4,090万円の伊賀南部クリーンセンター運転業務委託をさせていただいておりましたけれども、23年度では1億6,700万円と

ということで増ということでございます。2,600万円余の増ということでございます。その増の要因でございますけれども、現在22年度で現業職員が10名、正式には中途退職を入れまして11名、23年度1名、再任用を予定しておりますので、10名の減ということでございます。そんな中で、リサイクル部門のほうに5名分を民間委託させていただきたいと、このような考え方で増ということでございます。

議長（柳生大輔） 三原淳子議員。

議員（三原淳子） 今90日連続稼働を実施しております。2月5日から5月5日までということですが、この90日連続稼働ができれば本格受け入れということなのですが、今後本格受け入れした後、どのようにこれからの運転管理を考えているのか。そして、予算はどのように考えているのかということがまず1つ聞きたいことと、今回の故障についてもただの管理ミス、クリーニングの度合いが遅かったというだけではないと私は思っています。だからこそ90日がたたとえできたとしても、もっと十分な検証が必要と思うんですね。以前お聞きしたときに、専門的な機関でもって検証してもらおうということでした。その実施期間はいつになるのか、そしてその実施先はどこにしようのか、そのこともお答えください。

そして、本格受け入れをこのまま安易にできてしまっているのかということが一番言いたいことなのですが、もしたとえ受け入れをすとしても、これまでの状況を十分踏まえた契約内容にしなければならぬと思うんですね。そういったところをどのように考えているのかお答えください。

そして、以前聞いたときにもう一つ聞いたことで、長期の契約というふうなことも聞きました。そのことにも少し心配、懸念があります。このこともあわせてお答えください。

議長（柳生大輔） 事務局長。

事務局長（清滝勇人） 今後の運転の管理の関係でございますけれども、私どものほうは保証期間、90日連続稼働1号炉が5月5日にうまくいきましたら3年間の保証期間でございます平成24年2月5日が丸々3年間というようなこととなります。今後の運転管理の方法等につきましては、23年度中にどの方法が最も効率的でいいのか、先ほど議員ご紹介いただきましたように長期継続でいくのか、さまざまな方法を検討させていただいた上で23年度中にはやらせていただきたい、このように考えております。

それから、あわせまして今回の90日連続運転での不具合の状況でございますけれども

も、一つはメーカー側と運転管理を委託しておりますところとうまく連携がとれば、そういうこともなかったわけでございますけれども、今後そういう部分については十分に私どもと三者で連携をとらせていただきたいと、このように考えております。

それから、保証期間が切れた後の部分までの間の90日間連続運転終わりましたら、今現在2号炉は90日連続運転終わらせていただいて、清掃とそれから点検に入らせていただいてございます。2号炉につきましては、現在ごみピットの状況が非常に減少しているところから、そのごみの状況を見まして3月上旬ぐらいに立ち上げをさせていただけたらなど、このような考え方を持っております。

それと、検証についてということで、基本的には私どもの仕様書の中で保証期間完了前3カ月前に検証ということでございますけれども、これにつきましてはしっかり90日連続運転終わった後、十分今回委託料もつけさせていただいておりますことから、それに基づいて対応させていただきたい、このように考えています。

あと、設計の検証の部分ですけれども、管理の部分については従前からこの建設にかかわっていただいております財団法人日本環境衛生センターにできたらお願いをさせていただきたい、このように考えているところです。

以上であります。

議長（柳生大輔） 三原淳子議員。

議員（三原淳子） まず、その検証なのですが、日本環境センターっていうのはこのクリーンセンター建設時からずっと携わっていたところですよ。そうではなくて、やっぱり本当の第三者ですね、今まで全くかかわっていない専門的な機関にしっかりと検証をしていただく必要があると私は思います。

そしてもう一つ、仮に本格受け入れしたとして、どのように契約するのか。また、どのようにこれから管理していくのかっていうところが23年度中に考えて答えを出すということですが、そののところをもう少し今のうちからどんな考えを持っているのかをお聞かせ願いたいです。本当に安易にこれを受け入れてしまうと、これからもしも故障があったとしたらすべて環境衛生組合での負担になるんですね。すごい財政負担になると思うのです。ですから、ここのところしっかりと踏まえていただきたいと思います。

そして、もう一つ別のことですが、ストックヤードで1億円の予算が上がっています。予算だけであって、その図面、内容がまだはっきりと示されていないんですね。説明の中では紙の保管ということでしたが、資源の保管ということでしたが、どういった

形のものができるのか、そのところをお答えください。

議長（柳生大輔） 事務局長。

事務局長（清滝勇人） 今後の運転委託の関係ですけれども、どのように計画を考えていくのかということでございますけれども、先ほどもお答えさせていただきましたように、最も今後経費がかかってくるであろうというのは補修費でございます。基本的には私どものほうの経費の大きなものは、助燃剤である灯油であったり電気料金、光熱水費が特に主なものでございます。あわせまして、水道料金が昨年10月から一部改正をさせていただいておりますので5割ぐらいの増になるのか、こういうものが増になってくようかと思っています。そのような中で、例えば長期、長期は何年なのかっていうところもあるわけでございますけれども、その補修費がどれだけ安くなれるのか、包括することによって安くなるのか、その辺も含めて単年度にするべきなのかっていうことも含めて23年度中に検討をさせていただきたい。その中で最もより良い方法を選ばせていただきたい、このように思っています。

それから、検証について財団法人日本環境衛生センターよりも他の、私どもは最も建設にかかわっていただいて施工監理からよく知っておられるところが最もその検証、良いところも悪いところも知っておられるというところが一番いいのかなと、このような判断をさせていただいて、今後日本環境衛生センターのほうにお願いをさせていただきたい、このように考えています。

それから、ストックヤードの整備事業にかかわってご質問いただきました。23年度をお願いをさせていただいておりますストックヤード整備につきましては、建設工事では1億円、あと備品等もでございますけれども、22年度でご予算認めていただきまして、ストックヤードの建設実施設計業務委託を現在名張市の都市整備部のほうを中心にお願いをさせていただいて、市内の森本建築事務所のほうに発注をさせていただいております。現在その業務をやっているところでございます。

概要につきましては、大体さきのおきも報告をさせていただいておりますけれども、大体500から600㎡ぐらいの大きさのものを考えさせていただいております。その中で、紙・繊維類のストックヤード、基本的には名張市と伊賀市青山支所管内で収集したものの保管施設ということで一般からの家庭の受け入れはしない、これは地元からの約束でしないというようなことでございます。

あと事務所と、それからあわせまして今現在伊賀南部クリーンセンターでも実施をさ

せていただいております再生品の販売等、そういうものとあわせて環境も使えるような多目的ホールと事務所というふうなことでございます。具体的になりましたら、また議会のほうにも報告をさせていただきたい、このように考えております。

以上であります。

議長（柳生大輔） ほかに質疑はございませんか。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（柳生大輔） 無いようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（柳生大輔） 討論が無いようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第1号についてを採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（柳生大輔） 起立全員であります。よって議案第1号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

日程第5 議案第2号 平成22年度伊賀南部環境衛生組合一般会計補正予算（第3号）
について

議長（柳生大輔） 日程第5、議案第2号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。管理者。

（管理者亀井利克登壇）

管理者（亀井利克） ただいま上程されました議案第2号、平成22年度伊賀南部環境衛生組合一般会計補正予算（第3号）につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

今回お願いいたします補正予算は、それぞれの事業進捗を踏まえ、所要額の精査をいたしたものでございます。

それでは、歳出からご説明申し上げます。

まず、議会費及び総務管理費は、委託料等の所要額精査によりそれぞれ13万4,000円と125万2,000円を減額いたしております。

次に、環境衛生費の収塵車管理費は、需用費の所要額精査により150万円を減額いたしております。クリーンセンター費は、需用費等の所要額精査により燃料費等で

1,622万円、委託料で344万円を減額いたしております。最終処分場費は、所要額精査により薬品費で100万円、原材料費で70万円を減額いたしております。し尿処理費は、所要額精査により光熱水費を300万円減額し、不足する燃料費に同額を増額補正いたしております。ストックヤード整備費は、旧清掃工場の解体等に伴う委託料及び解体工事費に係る落札差金による精査を行い、あわせて1億903万6,000円を減額いたしております。

次に、歳入でございますが、まず廃棄物処理手数料は施設への搬入状況等や指定ごみ袋に係るごみ処理手数料の収入状況に基づき、それぞれ収入見込み額を精査した結果、あわせて668万円を減額いたしております。

また、証明発行による手数料収入が新たに発生したことから、使用料及び手数料に諸手数料として1,000円を計上いたしております。

次に、国庫支出金は、旧清掃工場の解体及びストックヤード整備事業に係る循環型社会形成推進交付金が翌年度分を含めて一括交付されたことから、879万1,000円を増額いたしております。諸収入は、共済負担金の精算額増などに伴い総務雑入に70万円を増額したほか、諸雑入では紙、繊維類や金属等の廃品売り払い収益の増加により540万円が増額となる一方、ペットボトルや容器包装プラスチックの回収に係る再商品合理化拠出金配分金の減少に伴い600万円の減額が見込まれることから、差し引き60万円の減額といたしております。また、組合債につきましては、旧清掃工場の解体工事費などの落札差金や、翌年度分を含む循環型社会形成推進交付金の一括交付により今年度に計画していた清掃施設整備事業債の借り入れが不要となったことから、1億940万円の減額といたしております。

この結果、分担金は名張市分が2,235万6,000円の減額、伊賀市分が373万8,000円の減額となり、合わせて2,609万4,000円を減額いたしております。

これらによりまして、補正後の歳入歳出総額はそれぞれ17億6,167万6,000円となっております。

また、クリーンセンター費において、90日連続運転試験等の技術的支援に係る委託事業が年度内に完了できなくなったことから、この委託事業に係る繰越明許費の設定をさせていただきます。あわせて旧清掃工場解体撤去工事費に係る債務負担行為の設定について、当該工事請負費の落札差金により限度額の減額補正をさせていただきます。

おります。

また、清掃施設整備事業費に係る起債の限度額設定につきましても、今年度の借り入れが不要となったことから廃止とさせていただいております。

以上が今回お願いいたします補正予算の概要でございます。何とぞよろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願いを申し上げ、提案理由のご説明とさせていただきます。

議長（柳生大輔） これより質疑を行います。三原淳子議員。

議員（三原淳子） 補正予算について質問します。

まず、交付税の決定とまた落札差金によつての補正が行われました。この当初の見込みよりも解体事業が安く上がったということで、その安全性について前の議会のときからずっとほかの議員の方も皆さん質問しておられました。

再度確認します。この安全性をどのように確認をとっていくのかお尋ねします。

そして、ストックヤードのほうは今回の補正では設計費だけとなって減額になっておりますが、この設計に当たって地域からの要望またはその対応について、どのように対処したのかお答えください。

議長（柳生大輔） 事務局長。

事務局長（清滝勇人） 旧伊賀南部清掃工場の解体撤去工事に係りましての安全性ということでございますけれども、議員もご紹介のように前回の議会でもご質問等いただいておりますけれども、私どものほうは当然当時議員さんからもご指摘いただいたように、安かろう悪かろうでは絶対困るというような部分でございますけれども、今現在旧清掃工場内での除染という作業を行わせていただいておりますので、当然ダイオキシン類の暴露、作業員の安全性を確保するための暴露の部分もやらせていただいておりますので、当然洗浄したものは場外へ出さないという、そういう部分での安全、当然監督員も私どものほうで選ばせていただいておりますので、計画どおり6月30日には無事に安全で完了できるものと、このように考えてございますのでご理解いただきたい、このように思っております。

それから、ストックヤードの整備にかかわりまして、地区との話はどうかということでもあります。

私どものほうは周辺地域といいますと、青蓮寺地区、それから赤目すみれが丘、赤目町星川、その3地区とこの旧清掃工場の解体に伴つての跡地利用について協議をさせていただいてまいりました。その中で、財政非常に厳しい状況の中で、やはり国の交付金

制度を活用させていただかなければなかなか解体に入らせていただくこともできない、難しいんだということで、いろんな方法でどういうものが跡地にいいのかなということも考えさせていただいたわけですが、基本的には紙・繊維類のストックヤードが私どもの計画の中で最もベターではないかと、こういう判断のもとで周辺地域のご理解をいただきました。ただ、最終的には旧清掃工場跡地全体の部分については、現在グラウンド並びにそれからテニスコート、それからグラウンドゴルフ等させていただきましたけれども、そういうのも含めて今後3地域と継続して全体の計画にして協議をさせていただきたいと、このように考えております。

以上でございます。

議長（柳生大輔） 三原淳子議員。

議員（三原淳子） 有利な起債を組むに当たって、この資源循環型形成のための施設ということなのですが、そのところにそういったスポーツ施設とかそういったのも含めて考えてもいいのですか。

議長（柳生大輔） 事務局長。

事務局長（清滝勇人） 国の循環型交付金といいますのは、あくまでもそういう廃棄物にかかわるもの、例えばストックヤードであったり、それからまた新たな清掃工場であったり、そういうものでしか対応できない。例えば一つは環境学習的なソフトの部分についてのそういう施設はオーケーだということですが、議員ご紹介のようにそういうスポーツ施設は対象外ということでございます。

以上でございます。

議長（柳生大輔） 永岡禎議員。

議員（永岡 禎） 一点だけお伺いいたします。

クリーンセンター費の中で、飛灰処理費委託料が増えております。この原因についてお聞かせ願いたいと思います。

議長（柳生大輔） 事務局長。

事務局長（清滝勇人） 私どものほうのクリーンセンターから発生します中で、スラグとそれから議員ご紹介いただきました飛灰がございます。元々の当初の計画では、前年度と同じぐらいの飛灰が出るのかなという想定をさせていただいておったわけですが、単価自体も現在大牟田の三池製錬のほうにお願いをさせていただいて、単価はどうか交渉させていただいてトン当たり3,000円を下げさせていただきました。けれど

も、実質的には飛灰の量が計画よりも増えたというのが主な原因でございます。

議長（柳生大輔） 永岡禎議員。

議員（永岡 禎） 単価のほうが上がっていて仕方がない原因なるかなと思うのですが、当初の見込みより増えているというのは、逆に言うと全体の設計ミスっていうたらおかしいのですが、今回も故障が起きましたけども、そういった部分にもつながってきているのじゃないかと。見込みが多い、出る量が多いってということは、その辺はどう理解されていますか。

議長（柳生大輔） 事務局長。

事務局長（清滝勇人） 議員おっしゃっていただくように、ごみの量によって私どものほうは排出されるのは不燃残渣であったり、それから飛灰であったり、それからスラグである。スラグとそれから飛灰の率というのは、当然スラグがふえれば飛灰が減ってくるというような、そういう状況でございます。当初の私のほうの要求の中では、今回増額させていただくほどの金額の想定をさせていただいたわけでございますけれども、やはり最終的には査定等の中で減額等もありまして、補正対応ということでお話ししたと、こういうことであります。

以上です。

議長（柳生大輔） 永岡禎議員。

議員（永岡 禎） 炉のほうの性能にかかわってないという理解でよろしいですか。

議長（柳生大輔） 事務局長。

事務局長（清滝勇人） 私どもはできるだけスラグがたくさん出る、現在1トン当たり3.1%程度、前年度が2.7%の発生量だったのですが、スラグが3.1に増えていると、それに伴って飛灰も減っているということでございますので、これはごみの状況によってさまざまございますけれども、できるだけスラグの発生量を増やして飛灰を減らしていきたい、このような考え方で考えておりますので、運転の中である分はやらせていただけるのかなと思っています。

議長（柳生大輔） ほかに質疑はございませんか。幸松孝太郎議員。

議員（幸松孝太郎） 11ページの電柱占用料のことだけ一点お聞きしたいのですが、この70万円の金額、どういう形で電柱をこうしていくかというちょっと具体的なところを教えていただけますか。

議長（柳生大輔） 総務室長。

総務室長（井面清司） 議員お尋ねの電柱使用料等ということで書いてございます雑入の70万円の増額についてでございますが、摘要の説明では電柱占用料というような表記になってございますが、この70万円の増については今回ご説明させていただきますのは、職員の共済負担金の掛金の精査によった増額返還金がございましたので、これが70万円、これが主な増額の要因となってございまして、決して電柱使用占用料がかなり増えたからとかそういったことじゃございません。ご理解いただきたいと思ひます。

議長（柳生大輔） 幸松孝太郎議員。

議員（幸松孝太郎） わかりました。

クリーンセンターに行くのに道がわかりにくいので、そういった意味でもっとわかりやすいような形をちょっと考えているのかなと思ひてちょっと確認したのですが、それに関しては何か対策は講じておるのでしょうか。

議長（柳生大輔） 事務局長。

事務局長（清滝勇人） 幸松議員ご紹介いただきましたように、建設オープン当時は非常にわかりにくいという市民のご意見等もいただいております。その中で、私どももできるだけ改善をさせていただきたいと、このような考え方の中で、ちょうど県道から市道へ入る部分については伊賀南部クリーンセンターという矢印のところ、ちょっと見やすいような形で、大きさは変えてないのですが文字の大きさを変えさせていただいたというのが一つ改善をさせていただいております。

それから二点目は、電柱のほうに広告看板を2カ所設置をさせていただいております、これは市民の皆さんから青地に白字ということで、文字が白ということでわかりやすいということで、そういうような改善をさせていただいてるというような現状でございます。

以上であります。

議長（柳生大輔） ほかに質疑はございませんか。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（柳生大輔） 無いようでありますので、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（柳生大輔） 討論が無いようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第2号について採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛

成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

議長(柳生大輔) 起立全員であります。よって議案第2号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

議長(柳生大輔) 以上をもちまして、本組合議会定例会に付議されました事件はすべて終了いたしました。

これをもって、平成23年2月伊賀南部環境衛生組合議会第167回定例会を閉会いたします。

午前11時15分閉会

~~~~~

議長は、この会議録をつくり、署名者とともに署名する。

議 長

議 員

議 員